

## 郡山りょう氏の当選 JAM議席の奪還を！

### — 新年のごあいさつ —



執行委員長 杉原孝一

明けましておめでとうございます。

2025年の新春を、健やかに迎えのこととお慶び  
申しあげます。

旧年中は、JAM甲信の諸活動に対して、ひとかたならぬ御支援、御協力を賜り、  
厚く御礼申し上げます。本年も引き続き宜しく願い申し上げます。

本年は十干十二支で言うと「乙巳（きのとみ）」の年です。学んできたことや努  
力してきたことが、屈曲して軋む（きしむ）ほどになり、上蓋を跳ねるがごとく  
芽吹くと一気に極限まで伸びる、そんな勢いのある年であるといった言い伝えが  
あります。また、過去の巳年では蛇が脱皮して新しくなるような、日本社会にも大きな変化や再生する出来事  
が多く起こっています。2025年がこの言い伝えのような素晴らしい一年になることを願うばかりです。

昨年を振り返ってみますと、元旦に衝撃を受けた能登半島地震発生をはじめ、様々な自然災害、異常気象が  
多く発生した年でもありました。被災地の一日も早い復興と、被災された皆様が一日も早く安穏な日常生活を  
取り戻せる事ができますよう願っております。

現在の日本を取り巻く状況は、行き過ぎとも言える円安、中国・欧州などを中心とした世界経済の低迷や、  
未だ続くロシアによるウクライナへの軍事侵攻、パレスチナ・イスラエル戦争など地政学的リスクの高まり、  
国内政治情勢の不安定化など、内外でのリスク要因の顕在化によって先行きに対する不透明感が増す状況と  
なっています。その結果、原材料や食料品などを輸入に頼っています日本においては多くの物の値段が上  
がり、物価上昇も近年にない上げ幅となりました。また、企業業績においても円安の影響は顕著であり、輸出  
関連企業では利益が出ているものの、多くの中小企業では厳しい環境となっているのが実情です。

そのような中、2024年春闘は、物価上昇に負けない賃上げを実現するため、すべての単組が「継続可能なも  
のづくりへ」を目指し、前年を上回る取り組みを着実に進め、展開致しました。結果として、賃上げ額の単純  
平均は10,436円となり、昨年度の8,939円より1,497円プラスとなりました。

2024年春闘の平均賃上げ額、賃金改善額については、甲信はじめJAM全体として結成以来最高となり、こ  
れまでとは次元の違う水準の賃上げが実現しました。この結果を一時的なものとするのではなく歴史的な転換  
点とするべく、この賃上げの流れを継続していかなければならないと思っておりますので、2025年春闘に向  
け、皆さまの一層のご奮闘をお願い致します。

一方、2025年7月に行われます第27回参議院議員・比例代表選挙で「郡山りょう」氏の当選・JAMの議席  
を奪還することが本年の最大課題であります。ものづくり産業の発展のために、様々な課題の解決や共に働く  
仲間、組合員が豊かな暮らしを実感でき、安心して働くことができる環境を構築し、職場の声を軸にした政策  
実現を強力に推し進めるためにも、JAMの議席が必要です。「郡山りょう」氏の必勝に向け運動を進めていき  
たいと思っておりますので、組合員の皆様のご理解ご協力ご支援の程お願い致します。

結びに、2025年も皆様からの多大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にと  
って、明るく希望に満ちた年となりますよう、共に頑張ることを誓いまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



JAM甲信は、2024年11月9日（土）、岡谷市のライフプラザマリオで50単組・支部の単組代表者と共済の事務担当者など100名が参加し、JAM甲信・共済推進全体会議を開催した。

第1部の全体会議でJAM甲信共済推進委員会の杉原推進委員長は、「今年は1月1日に能登半島地震が発生した。近年では自然災害の発生頻度も高まっている。安心して生活していくには様々なりリスクに備えることが必要となる。少ない掛金で大きな保障が得られるJAM共済の推進・加入について、単組で一層の取り組みをお願いしたい」と挨拶した。次に櫻井事務局長よりJAM共済の加入・給付の状況について説明がされた。

第2部の分科会においては、提携共済推進委員会では、昨年度のキャンペーンの表彰を行うと共に、JAM個人医療共済の推進強化とマイカー共済の推進を中心としたキャンペーンと、単組役員の保障点

検を展開して、更なる保障の充実を図っていくことが確認された。また、自家共済推進委員会においては、同じく昨年度のキャンペーンの表彰を行い、本部・JAM甲信キャンペーンの周知を行い、単組役員の加入促進をはじめとした共済活動の更なる展開を図っていくことが確認された。

それぞれの分科会を含め、昨年度の活動報告と2025年度の活動方針について、承認がされた。



共済制度の説明に耳を傾ける参加者（提携共済分科会）

JAM甲信は、2025年度の単組役員研修会Ⅰ、Ⅱを、岡谷市のライフプラザマリオで開催した。

研修会Ⅰは2024年10月5日（土）に「組合役員の心構えと賃金について」と題して開催し、19単組・支部から31名が参加した。前段の「単組役員の任務と心構え」では小林組織部長が講師を務め、労働組合の意義と労働三法、組合活動の3本柱、執行部役員の任務について説明し、後段の「賃金について」では櫻井書記長が講師を務め、賃金の定義と意



単組役員の心構えを確認し合う（単組役員研修会Ⅰ）

義、平均賃上げ要求と個別賃金要求の違いの他、春闘交渉における要求の作り方について説明した。参加者からは「単組役員として活動するためのベースが学べて良かった」「賃金について、要求作成時のポイントを理解できたので、自単組でもデータを分析し、活用してみたい」などの感想があった。

研修会Ⅱは「経営分析のすすめ」と題して同年11月16日（土）に開催し、20単組・支部から30名が参加した。佐野副書記長が講師を務め、企業の財務状況を平時より把握しておく重要性を説いた。財務諸表の見方を説明し、ある企業の財務諸表を題材にどのような経営状態にあるのか？を参加者それぞれが分析し、グループワーク・発表を通じ理解を深めた。

参加者からは「会社の経営状況を数値で理解する方法を知ることが出来て良かった」「財務諸表の見べき箇所が理解できた。今後更に理解を深め、活用できるようにしたい」などの感想が寄せられた。

JAM甲信は、2024年11月16日（土）岡谷市のライフプラザマリオにおいて、広報担当者を中心に3単組3名が参加して、広報セミナーを開催した。

本セミナーは初級編であり、午前中は講師の小林組織部長から写真の撮り方、文章の書き方とその見出しの作り方、取材の仕方や構成に至るまでの、広報紙作成の基本的手法が説明された。講義では、「記事を書く上で5W1Hは基本であり、その中でも『誰が』『どうした』を意識して、まずは記事を書



広報紙制作に取り組むセミナー受講者

いてみよう」と構成を考えて文章を書く重要性が説かれた。その後、合同演習として5W1Hに沿った文章構成や新聞記事を用いた見出し作成の演習を行った。

午後は、3つのテーマで受講者それぞれが広報紙を作成した。1つ目は自身が受講した「JAM甲信広報セミナー」、2つ目は参加者同士で取材をし合い記事にする「参加者紹介の記事」、3つ目は別フロアで同時開催していた「単組役員研修会Ⅱ・経営分析のすすめ」とし、実際に取材も体験した。取材では、最初は戸惑う様子も見られたが、講師や参加者へのインタビューを行い、研修会の様子を記事にした。

受講者からは「演習や取材、広報紙の作成などを実際に体験する事で、理解が深まった」、「記事の書き方、見出しの付け方、取材の仕方全てが一つ一つ大事であり、記事を作成することの難しさを実感した。今回のセミナーで学んだ内容を、単組で活用していきたい」などの感想が寄せられた。

JAM甲信は、2024年11月23日（土）に茅野市マリオローヤル会館で、18単組37名の単組役員を集め、2025年春闘研修会を開催した。例年この時期には個別賃金研修会を開催しているが、2023年春闘から過年度物価上昇分を踏まえた要求作りと交渉を方針に掲げていることや、企業によっては決算月が変更となったことでより早い春闘の取り組みが必要となった状況などから、今年度初めての試みとして春闘研修会を開催した。

講師の櫻井書記長は「2024年春闘はJAM発足以来、最高水準の賃上げを獲得できた。一方で、若年層から高年齢層まで一気に規模間格差が拡大した。2025年春闘はあるべき賃金水準にこだわり、物価上昇に負けず生活向上を実感でき、格差を是正できる賃上げに取り組む必要がある。JAM甲信でも2014年春闘からの11年間において、取り組みの有無により同規模間でも格差が生じている。よって職場討議で組合員の声を吸い上げ、組合員の負託に応える要求をすることが重要である」と説いた。

その後のグループワークでは、改善分と是正分の見出し方について確認し合った。参加者からは、「春闘に向けて心構えが出来た」「春闘交渉のポイントとなる背景を整理出来て良かった」「ターゲットを設定して取り組む意義について、これまでの考え方も整理でき、自単組の取り組みに活用したい」などの感想が述べられ、有意義な研修となった。



改善分と是正分の見出し方の考え方を深める

# 2024政策実現活動・「郡山りょう」 甲信入り第二弾で決意を語る！

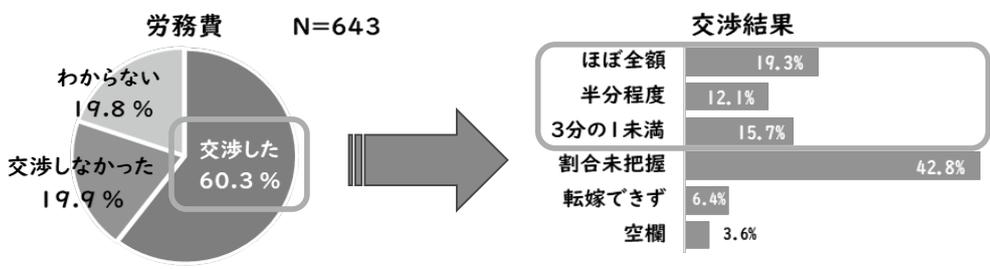
2024年10月29日～11月1日に甲信入りの第二弾として、上小地区連絡会、長野地区協、中信地区協（安曇野エリア）、飯田地区協、諏訪北地区協、諏訪南地区協の構成単組・支部を訪問し、「郡山りょう」組織内候補予定者が決意を語ると共に、単組役員と意見交換を行いました。

甲信入り  
第二弾  
訪問風景  
(抜粋)



## 2025春闘 着実な「価格転嫁」で賃上げ原資の確保！ 「価値を認め合う社会へ」を推進、物価上昇に負けない賃上げを！

価格転嫁の取引先への要請について、原材料費、エネルギー費の交渉は以前より進んできましたが、**労務費**については依然進んでいない現状があります。



出所：JAM2024年政策討論集会  
重点課題説明より抜粋

価格転嫁と賃金改善額	価格転嫁できない※1 (3分の1未満※2)	価格転嫁できた (半分以上転嫁できた)	差額 できたーできない
賃金改善額 (単組数)	7,792円 (128)	8,561円 (208)	+769円
平均賃上げ額 (単組数)	11,489円 (154)	12,427円 (257)	+938円

— お知らせ —

■ JAM甲信  
第26回地方委員会・  
政策制度討論研修会

- 日時  
2025年1月25日(土)  
10時から
- 場所  
マリオローヤル会館  
(茅野市)

多くの皆さまの  
ご参加をお願いします。